



ラポール

10

夢 かぎりなく



※「rapport」…ももとは報告・つながり・関係などを意味するが、対人関係における円滑な精神的交流を指すようになった。

- 設立 25 周年記念式典並びに祝賀会が
開催されました。————— 宮城県
- 平成 24 年度役員辞令交付式が
執り行われました。————— 宮城県



宮城県倫理法人会 活動理念

- 一、倫理経営を通して活力ある企業を創る
- 一、倫理運動を通して明るく豊かな地域社会を創る
- 一、倫理活動を通して未来を担う新進気鋭の人材を創出する

会長あいさつ



宮城県倫理法人会 会長 原田 善征
(株式会社ホテル原田 代表取締役社長)

平成21年6月、宮城県倫理法人会曳地会長より、次年度の会長に石川社長に引き受けて頂くよう説得して欲しいとお願いされ、6月2日松島で石川社長と会い説得を行いました。中々首を縦に振りませんでした。暫くの沈黙の後、条件があると言い、①県の役員人事については現会長と相談して決めること。②私も年なので途中で何かあった場合責任もってあなたが会長を引き受けてくれること。ということでした。何かあった場合などあり得ず、冗談だろうと迷いなく条件を呑み、引き受けて頂きました。

その後、石川会長の強いリーダーシップの下に平成23年8月23日には設立25周年記念式典、そして2600社達成祝賀会を開催する予定でしたが、3.11東日本大震災にて石川会長も帰らぬ人となり、宮城県倫理法人会も一時混乱に陥り普及どころではなく2600社から2210社に下方修正しましたが、2210社も危ぶまれておりましたところ、田中相談役に会長代行を受けて頂いてから、役員会が事の重大さを知って、心が一つになり2224社を達成することが出来、8月23日には震災により犠牲となられた会員の皆様の追悼式並びに設立25周年記念式典を挙げて行いました。

平成24年度の役員辞令交付式は震災で甚大な被害を受けた宮城県、岩手県、福島県には丸山理事長

が直々に辞令交付式に来られました。宮城県は9月6日張り詰めた緊張の中、宮城県倫理法人会役員辞令交付式が始まり、240名の役員は、丸山理事長より辞令を受け取る役員の顔には、石川会長が志半ばで2600社達成できなかった無念さを、今年度は全員野球で石川会長に報いるために何がなんでも「志を得る」強い決意が現れていました。

さて、人の噂も75日と言われます。また、喉元過ぎれば熱さ忘れると言います。地震だ津波だ原発だと慌てふためいても、これが治まると普通の生活に戻り、忘れられると思います。尊い命を奪われたことを無駄にせず、今回の災害を私達が後世に伝えていくことが亡くなられた方への供養だと思います。

最後に今年度私が会長を引き受けることになりました。なぜ原田がと思う人も多いと思います。私も皆様以上に思っています。このような時だから引き受けて欲しいと言われ悩みました。眠れませんでした。倫理はたのまれたらハイだよと常に言っていた本人がハイと言えない自分がいりましたが、石川会長のこともあるし、ハイと言って受けざるを得ませんでした。なにせ力のない会長ですが多くの方々の協力を頂き、石川会長の無念さを晴らす為に一年間私なりに誠心誠意努力することを誓います。

設立 25 周年記念式典並びに祝賀会が 開催されました。



- ◆日 時 平成 23 年 8 月 23 日 (火) 17:30 ~ 21:00
- ◆場 所 パレスへいあん仙台 3 階グレースホール
- ◆参加者 241 名
- ◆司会進行 渥美秀明副幹事長

式典は 3 部からなり初めに第 1 部として、東日本大震災の追悼式を行いました。3 月 11 日の東日本大震災で亡くなられた石川茂男県会長を初め 11 名の会員の皆様のご冥福を祈る為、1 分間の黙とうを捧げました。

村上力男副会長の開会の言葉の後、田中裕人会長代行の挨拶そして、倫理研究所を代表して内田文朗普及事業部部長・理事の献花、引き続き他県の代表者、そして県・単会役員が会員を代表して献花を行いました。

最後にご遺族を代表して、(株)宮城プラントサービス代表取締役石川佳洋様より、ご挨拶を頂きました。

第 2 部は設立 25 周年記念式典を行いました。佐藤俊明副会長の開会の言葉の後、国歌斉唱そして保坂浩一幹事長から宮城県倫理法人会設立後、21 年から 25 年にかけての経過報告がありました。また功労者表彰としてこのたびの大震災における多大な貢献をされたとして、田中裕人会長代行が受けられました。櫻井忠男副会長の閉会の言葉を頂き記念式典を終了致しました。

第 3 部は佐藤康久親睦部長の進行で祝賀会が執り行われました。県・市・銀行の皆様などのご来賓ご紹介の後、原田善征次期県会長の挨拶、田中裕人理事の乾杯の音頭で歓談に入りました。

その後平成 23 年度の普及拡大に多大な貢献をした小泉洋登米市倫理法人会会長、伊藤俊郎普及拡大委員長並びに、目標を達成した仙中央を初め 15 単会が表彰されました。最後に松谷県事務長の手締めでお開きとなりました。

(広報副委員長 及川 明)



平成 24 年度役員辞令交付式が 執り行われました。

- ◆日 時 平成 23 年 9 月 6 日 (火) 15:30 ~ 20:30
- ◆場 所 仙台国際ホテル 2 階平成の間
- ◆参加者 254 名
- ◆司会進行 渥美秀明・澤田元一郎副幹事長



佐藤俊明副会長の開会の言葉に引き続き、国歌斉唱を行い役員辞令交付式が始まりました。本年の役員辞令交付式には、約10年ぶりに丸山敏秋理事長が見えられ、直接役員辞令交付を受ける事となりました。次に原田善征新県会長から県辞令をいただきました。



活動表彰としては1000社倶楽部の認可証授与、並びに真紅の特別行動旗が石巻と気仙沼両単会に丸山理事長から直接授与されました。

原田新県会長のご挨拶の後、保坂浩一幹事長の決意発表、荒木良仁方面長の激励の言葉を頂き、日本創生の詩を斉唱し、櫻井忠男副会長の閉会の言葉で辞令交付式は閉会となりました。



引き続き丸山敏秋理事長から役員研修として、現在の日本が置かれている現状を倫理的に観てどの様に捉えているのかや、純粹倫理は「正しく」学び、「しっかり」実践することが大切であると、教えていただきました。



最後は佐藤康久親睦部長、勝又久美子副部長の司会で、懇親会を行いました。斎藤副会長の開会の言葉、そして丸山理事長・原田会長のご挨拶、保坂幹事長からご来賓の紹介と進み、田中理事の乾杯で懇親に入りました。途中各単会の決意発表を楽しく行い、大いに盛り上がった懇親会となりました。

(広報副委員長 及川 明)



仙台宮城野倫理法人会

震災から
半年

3.11
その時、わたしは・・・

会員スピーチ



マグニチュード9の巨大地震と津波に見舞われた東日本大震災から半年が過ぎた。まだまだ大変な状況は続いているが、この3・11を境に、多くの人たちの生きかた、命のありようが見つめ直され、支えあう心が広がっている。

平山光信

復興美容室実現
復興美容室を作ろう。「何か出来る事があれば」激励と共に電動イスや鏡、ハサミ等の支援物資が各地から届き復興美容室開店。



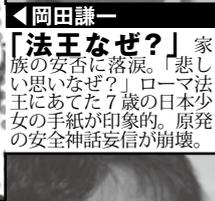
小倉寿一

助けあいの精神
露天風呂で仰天。人の絆を再認識。震災時のモラルは世界から称賛の声。支えあい助け合う精神の有り難さを痛感し深く感謝。



岡田謙一

「法王なぜ？」 家族の安否は落涙。「悲しい思いなぜ？」ローマ法王にあてた7歳の日本少女の手紙が印象的。原発の安全神話妄信が崩壊。



益田孝一

経験と教訓伝承
先人は石碑をたて神社を祭って自然災害に対し警鐘。この大震災の経験と教訓を発信し後世に残すことが我々の役割。



菅原正和

強い絆の大切さ
足の踏み場もない惨事へへたり込む老人。避難所の自主運営支援に奔走。心のケアとして「男はつらいよ」寅さん上映会も。



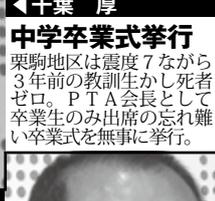
加藤千鶴

生かされたこの命
生きてゆくうえで真に大事なものは何だろうか？豊かさとは・・・自分見つけが出来た。負けてられない、生かされた命を大切に。



千葉 厚

中学卒業式挙行
栗駒地区は震度7ながら3年前の教訓生かし死者ゼロ。PTA会長として卒業生のみ出席の忘れ難い卒業式を無事に挙行。



沢田秀二

使命感と行動力
3階会議室で激震。社員の方を確保と防災用品配布。自転車通勤。家族2日分の食糧を独力調達した中学一年の息子に驚嘆。



櫻井光雄

地球自然の仲間
全てを受けとめる。自然は人智の及ばぬ猛威を振るう。が感動の朝焼け、涙の夕陽や希望の虹も豊かな自然の力。地球に共生。



和野邦彦

「これが良い」
電気も電話も遮断。入金には停滞し決済は待ったなし。苦難福門・・・毎日が試練。現状打破の秘訣「これが良い」を心の標語に。



震災後休会していた経営者モーニングセミナーも4月には再開。一歩ずつであるが復興への道を歩みはじめながら半年を迎えた。

沿岸地区を中心に廃墟と化した街にも、少しずつ変化が見え始めた所もある。

壊れた建物や橋、打ちあげられた漁船や瓦礫、そして寸断された道路はいずれ時間とともに復旧されることであろう。

未来へのメッセージ

しかし、人の心の奥に負った深い傷跡はそう簡単に癒えるものではない。いま私たちは震災から何を学び、なにを後世に伝え歴史に刻もうとしているのであろうか。

会員スピーチ「その時、わたしは・・・」。生々しい会員の体験発表のなかから、この大震災の意味と未来へ向けたメッセージを探った。

仙台宮城野 第587回 モーニングセミナー
ホテルレオパレス仙台 6月17日(金)

「ストレスとやりがい」

東北大学大学院教育学研究所
准教授 若島 孔文 様

ドラマ海猿で一躍有名になった特殊救難隊員が所属する第3管区海上保安本部。その高度な救援技術を誇るスペシャリスト隊員のストレス対策カウンセラーを担当した。

厳しい条件化で海上のおよび海底潜水による救難救助活動は、隊



員の身体に計り知れないストレスを課していると想像された。

ところが意外にも、彼らの困難度極める任務にもかかわらず、かかるストレスは必ずしも高くはない結果がでた。

任務難解度を超えた高い使命感と、困難に立ち向かう自由裁量度から、彼らはそこに強いやり甲斐を感じ、自己効力感が極めて高いため、ストレスを低減させている関係性が伺えた。

★宮城野倫理ビアパーティ開催

震災以後仕事が順調に回復している会友もあれば、復旧復興もままならない方も少なくない。会員が「元気な顔を合わせ楽しいひと時で英気を」。久々の顔合わせに大いに呑み語り合い、絆を確かめあった。



▶写真顔位置順に左から大沼、和野、京、水戸、小倉、沢田、菅原、大島、関、阿部、松本、平山、加藤、櫻井、小野寺。 8月5日「樹の下で」

(仙台宮城野倫理法人会 広報委員 櫻井光雄 rapport 201110)

仙台広瀬倫理法人会

◆日時 平成23年8月31日(水) ◆場所 フォレスト仙台セミナーホール

仙台広瀬イブニングセミナー

還暦ルーキープロゴルファー古市忠夫さん講演会



8月31日(水) 19:00～フォレスト仙台セミナーホールにて300名を超える参加者で盛大に行われました。今回は、「大震災が教えてくれた人生で一番大切なこと」と題してお話いただきました。

1995年1月17日未明、阪神大震災が発生。神戸市内でカメラ店を営んでいた古市忠夫さんは、友も家も財産も失くしてしまいます。街の復興のためにボランティアに奔走するが、ある日、被災を免れたゴルフバッグに出会い奇跡を感じ、「第二の人生はゴルフで行く！」と決めた。どこよりも早く商店街を復興させ、60歳を目前にプロテストに見事合格！還暦ルーキーとして話題になった。現在



70歳、これまでツアー8勝、エイジシュートも3回達成。今も、東日本大震災の現場でボランティアをしておられます。講演では、自分に「奇跡」が何度も起こるのは元々自分に能力があるからではなく、常に周りに対する感謝「ありがとう」という気持ちが奇跡を起こさせ、それが人生で一番大切なことだと教えていただきました。(仙台広瀬倫理法人会 広報委員長 三浦良)

大崎倫理法人会

◆日時 平成23年9月12日(月) ◆場所 大崎市 フィンランディア

村上力男元塾頭が握る『倫理にぎり鮓を堪能する会』開催！

村上力男元倫理経営塾塾頭をお迎えし『倫理にぎり鮓を堪能する会』が開催されました。村上元塾頭に会えるとあり皆笑顔で集合。佐藤俊明さん(平成11年第1期卒業生)の司会で進行、菅野利昭元倫理経営塾副塾頭の挨拶、村上元塾頭の挨拶を頂きました。その後、まりちゃん家の佐々木真理子さんよりバラの花束、中島設備工業の中嶋剛毅さんよりお鮓の絵の贈呈がありました。乾杯は千坂剛久倫理経営塾副塾頭の力強い発声で、村上元塾頭がこの震災で無事であったこと、また、今までお世話になった感謝の意を込め、全員で声高らかに乾杯。にぎりたてのお鮓に舌鼓を打ち堪能しながらの歓談後、参加者全員一人一人、経営塾入塾から卒業までのエピソード、苦労話、感動などその当時を思い出しながら語り合いました。異口同音大変な苦労と、それ故の達成感、感動を体験したとの話でした。是非多くの方の入塾をお勧めします。懇親を深めながら楽しい時間をすごしました。

最後に、この企画の世話人の方々と震災の影響でまだまだ忙しい中ご出席いただいた村上元塾頭に心より感謝申し上げます。



(大崎倫理法人会 広報委員長 今泉信吾)

仙台中央倫理法人会

1年間お世話役として頑張ります！決意も新たに役員会

◆日時 平成 23 年 9 月 11 日 (日) ◆場所 秋保グランドホテル

9月定例役員会



荒木方面長の役職研修

9月11日(日)に秋保グランドホテルにて仙台中央倫理法人会の9月度定例役員会が開催されました。9月の役員会は今期の役員が一堂に集い役員としての決意を新たにす節目の役員会です。

会は荒木北海道東北方面長の役職研修からスタート。「災害時にはATMも止まる。出張には10万円持っていくように言われている」というお話から始まり、倫理の話、役職者についての話、そして組織の話などを伺い「役を知り役に徹し役を超えない」心構えを最後にご説明いただいて荒木方面長の研修は終了。

次は各委員会ごとに集まり今期の活動方針と活動内容を話し合い大きな模造紙に書き出します。それを皆で力強く発表し合って役員会は幕を閉じました。

その後に行われた懇親会では普及拡大委員の伊澤さんから勝山の美味しいお酒もふるまわれ、役員一同が心を一つに結束を誓い、熱い会話が繰り広げられました。

皆様、今期も1年間どうぞよろしくお願いたします。役員一同、お世話役として頑張ります！



MS 委員会の全体発表



MS 委員会に突っ込みを入れる竹田朝礼委員長



真剣に書き込む親睦部会



研修委員会の全体発表



秋保グランドホテル支配人の東谷会員ご挨拶



懇親会では熱い会話があちこちで



若さはじける？青年委員会

(仙台中央倫理法人会 広報委員長 笹崎久美子)

10月のモーニングセミナー予定表

月	火	水					
3	4	5					
	講師	テーマ	法人会	講師	テーマ	法人会	
	原田善征様	宮城県倫理法人会 会長 「平成 24 年度活動方針について」	仙 南	未定		石 巻 市	
	戸田徹男様	社倫理研究所 参与	登 米 市	大里光市様	社倫理研究所 法人アドバイザー	多 賀 城市	
	原田善征様	宮城県倫理法人会 会長 「平成 24 年度活動方針について」	大 崎	沢田秀二様	仙台宮城野倫理法人会 専任幹事 「ハイの実践」	気仙沼市	
	岩淵節子様 氏家恵一郎様	御サン・クリーン仙台 取締役 氏家損害保険事務所 代表	会員スピーチ	仙台太白	畔高敦司様	社倫理研究所 法人アドバイザー 「自分を変える実践」	仙 台 泉
	蓮見幸子様	社倫理研究所 法人アドバイザー 「家庭の力そして夫婦力」	仙台青葉	山田耕太郎様	仙台市消防局警防部予防課 消防司令 仙台市地震防災アドバイザー	「東日本大震災に学ぶこと」	仙台若林
熊谷光良様	宮城県倫理法人会 朝礼委員長 気仙沼市倫理法人会 相談役 株式会社電気 代表取締役	「あの日、あの時」	仙台広瀬	原田善征様	宮城県倫理法人会 会長 「平成 24 年度 活動方針について」	さ くら	
10	11	12					
	講師	テーマ	法人会	講師	テーマ	法人会	
			仙 南	米田公男様	仙台広瀬倫理法人会 幹事 「お墓参りと倫理」	石 巻 市	
	会員スピーチ		登 米 市	扇 功様	宮城県倫理法人会 研修委員長 仙台広瀬倫理法人会 相談役	「創業 100年を目指して~その2難局に備える」	多 賀 城市
	小林英雄様	仙台東倫理法人会 幹事 「一生けんめい働く」ことの喜び	大 崎	未定		気仙沼市	
	荒木良仁様	社倫理研究所 法人局普及事業部 北海道・東北方面長	仙台太白	原田善征様	宮城県倫理法人会 会長 「平成 24 年度活動方針について」	仙 台 泉	
	原田善征様	宮城県倫理法人会 会長 「平成 24 年度 活動方針について」	仙台青葉	大橋慶子様	社倫理研究所 法人アドバイザー 「後始末は人生の重大時」	仙台若林	
新三役スピーチ	宮内 昭徳 会長・長谷川 嘉宏 専任幹事・鏡崎 智信 事務長	仙台広瀬			さ くら		
17	18	19					
	講師	テーマ	法人会	講師	テーマ	法人会	
	荒木良仁様	社倫理研究所 法人局普及事業部 北海道・東北方面長	仙 南	未定		石 巻 市	
	沼田落葉様	朝日精麦㈱ 代表取締役会長 「落葉のいのち」~夫婦は一对の反射鏡~	登 米 市	未定		多 賀 城市	
	今井典子様	愛知県倫理法人会 女性委員長 「ドラマのような人生を前向きに」	大 崎	未定		気仙沼市	
	阿部由晴様	聖心幼稚園 (幼時) 園長 (幼時) 園長 常盤木学園 サッカー部 監督	仙台太白	「世界一」		仙 台 泉	
	千葉 厚様	仙台宮城野倫理法人会 副専任幹事 岩倉測量設計㈱ 代表取締役	内陸地震と大震災からの学び (苦難福門)	仙台青葉	原田善征様	宮城県倫理法人会 会長 「平成 24 年度 活動方針について」	仙台若林
近藤健一様	大正紡織株式会社 取締役 営業部長 (兼) 東京事務所所長	「人に優しい地球に優しいエンカルアクションは今」	仙台広瀬	武藤 隆様	社倫理研究所 法人アドバイザー	さ くら	
24	25	26					
	講師	テーマ	法人会	講師	テーマ	法人会	
	原田善征様	宮城県倫理法人会 会長 「平成 24 年度活動方針について」	仙 南	松本光司様	北海道副方面長	石 巻 市	
	元木良樹様	高アールテクノロジー(株) 代表取締役 仙台中央倫理法人会 幹事	「あきらめない！」	登 米 市	未定	多 賀 城市	
	大橋俊作様	社倫理研究所 法人アドバイザー	未定	大 崎	荒木良仁様	社倫理研究所 法人局普及事業部 北海道・東北方面長	気仙沼市
	高橋義央様	仙台はせくら倫理法人会 幹事 御グレンシステム 代表取締役	「倫理を学んでいたから」	仙台太白	今井典子様	社倫理研究所 法人レクチャー 「ドラマのような人生を前向きに」	仙 台 泉
	今井典子様	愛知県倫理法人会 女性委員長 「ドラマのような人生を前向きに」	仙台青葉	会員リリーススピーチ・年次大会		仙台若林	
戸田徹男様	社倫理研究所 参与 「古くて新しい企業のあり方」	仙台広瀬			さ くら		
31							

木			金			土	日
						1	2
6			7			8	9
講師	テーマ	法人会	講師	テーマ	法人会		
林 昭平様	教東洋環機開発 代表取締役 仙台青葉倫理法人会 相談役	「東日本大震災被災建築物の解体撤去と処理リサイクルの対応」	仙台中央	松本光司様	社倫理研究所 法人局 北海道・東北圏方面長	「恩意義を深める」	仙台宮城野
戸田徹男様	社倫理研究所 参与	「古くて新しい企業のあり方」	仙 台 東	木村秀明様	社倫理研究所 法人アドバイザー		くりはら
未定		白石蔵王		佐佐木順子様	グランレーブ		仙台はせくら
13			14			15	16
講師	テーマ	法人会	講師	テーマ	法人会		
斎藤 元様	サイト工業㈱代表取締役 仙台東倫理法人会 相談役	「不況期こそ体質改善」	仙台中央	原田善征様	宮城県倫理法人会 会長	「平成 24 年度 活動方針について」	仙台宮城野
会員スピーチと年次大会		仙 台 東		未定			くりはら
朝倉幹雄様	社倫理研究所 法人アドバイザー		白石蔵王	長嶋 徹様	社倫理研究所 法人アドバイザー アスト・クルーナー 代表取締役相談役	「随縁（縁に従う）」	仙台はせくら
20			21			22	23
講師	テーマ	法人会	講師	テーマ	法人会		
宮井エ子様	社倫理研究所 法人アドバイザー	「岐路に立った時」	仙台中央	会員スピーチと年次大会			仙台宮城野
佐藤賢三様	仙台東倫理法人会 相談役	「銀行員の起業 10 年を思う」	仙 台 東	今井典子様	社倫理研究所 法人レクチャー	「ドラマのような人生を前向きに」	くりはら
伊藤長作様	宮城県 普及拡大副委員長 仙台泉 監査	「倫理で気づいた無能な私～万象我師」	白石蔵王	原田善征様	宮城県倫理法人会 会長	「平成 24 年度活動方針について」	仙台はせくら
27			28			29	30
講師	テーマ	法人会	講師	テーマ	法人会		
今井 司様	会津通商㈱ 専務取締役		仙台中央	今井典子様	社倫理研究所 法人レクチャー	「ドラマのような人生を前向きに」	仙台宮城野
今井典子様	社倫理研究所 法人レクチャー	「ドラマのような人生を前向きに」	仙 台 東	野口敬志様	さくら倫理法人会 相談役	「挫折こそ自己革新のとき～チャンスはどどんと埋まっている!～」	くりはら
未定		白石蔵王					仙台はせくら

登米市倫理法人会

◆日時 平成23年8月20日(土) ◆場所 若鯨会館

★155社達成祝賀会

8月20日17時より若鯨会館で155社達成祝賀会と併せて新入会員の歓迎会が盛大に行われました。

実際は165社拡大との事、皆さん大変おつかれさまでした。

来賓には田中会長代行、保坂幹事長、伊藤拡大副委員長、小野寺衆議院議員、登米市長らが出席し祝辞を述べられ、また最近入会した新入会員5名の紹介もありました。

個人賞1位は小泉会長、2位は伊藤拡大委員長でした。



◆日時 平成23年8月30日(火) ◆場所 若鯨本館

★役員研修会

8月30日16時より若鯨本館で登米市倫理法人会の新年度に向けた役員研修及び各委員会がありました。講師には倫理研究所、北海道・東北川又副方面長を招き役員としてのあり方を見直していただける新年度に向けた重要な研修でした。

終わり次第、スナックティアラにおいて川又副方面長の送別会がなごやかに開会され、また古くより実家で家庭倫理からのつきあいだった登米市長夫人も参加されお二人とも懐かしそうに会話がはずんでいました。また川又副方面長は今度、名誉専任研究員として9月27日のモーニングセミナーに来ることになっています。これまで以上に全国を回ることになるそうです。



★震災の被災単会に「黒澤米」贈呈

8月24日石巻、8月30日仙南、8月31日気仙沼と多賀城に。

登米市倫理法人会では宮城で一番早く収穫できる「黒澤米」2キロ入れ新米を、被災単会である石巻倫理法人会へ100袋、気仙沼倫理法人会へ100袋、多賀城倫理法人会へ50袋、仙南倫理法人会へ50袋、合計300袋を各モーニング会場に赴き贈呈してまいりました。

各被災単会の皆様には大変喜ばれ歓迎されました。小泉会長はじめ強行なスケジュールの中、大変御苦労様でした。



登米市倫理法人会小泉会長
(気仙沼モーニング会場)

登米市倫理佐藤拡大委員長と
千葉専任幹事

多賀城モーニング会場

(登米市倫理法人会 広報委員長 鈴木 衛)